

合同結婚式が毎年6月に催されている那須塩原市関谷の「もみじ谷大吊橋」写真、昨年6月撮影Ⅱが、4月1日付で「恋人の聖地」に選定された。静岡市のNPO法人「地域活性化支援センター」が、プロポーズにふさわしいスポットとして、118か所目の地を選んだ。つり橋は初めてで、県内では那須町の「那須高原展望台」に次いで2か所目。

もみじ谷大吊橋 「恋人の聖地」に

もみじ谷大吊橋は、塩原ダム湖に架かり、全長は320m。塩原温泉観光協会は完成した1999年から、カップルを募集して毎年6月、橋上をパージンロードに見立てた合同結婚式「塩原フラワーウエディング」を開催している。

この継続的な取り組みや、橋のスケール、景観などが評価され、聖地に選ばれた。同市湯本塩原のスキー場「ハンターマウンテン塩

那須塩原 NPOが選定

原」も、吊橋のサテライトに選定された。

東日本大震災の影響で、塩原温泉を訪れる観光客数はまだ回復していない。塩原温泉観光協会の君島則夫会長(66)は「恋人の聖地に選定されたことを機に、モニュメントを設置するなどして誘客に大いに活用していきたい」と話し、15回目の今年の合同結婚式(6月9日)は、これまでと趣向を変えて取り組むと意気込んだ。

